

観光データマネジメント プラットフォーム調査分析事業



現状と課題

- ・ 来訪者の動きが見えにくい
- ・ 感覚や経験に頼りがち
- ・ 根拠のある施策が立てにくい

事業の目的

- ・観光データの活用
- ・現状の見える化
- ・関係者での共有

データ収集・集積

データの分析

データ共有・活用

効果検証

観光に
データを活かす



データの収集・集積①

・くずまき高原スタンプラリー

平成30年度から令和6年度に実施したアンケート結果
令和7年度以降の結果も順次集積

・来訪者実態調査

宿泊施設、観光関連施設等9地点でアンケートを実施
令和7年5月1日から令和8年2月28日まで実施
令和8年度も継続し、集積予定

データの収集・集積②

・ダッシュボードの作成

アンケートや実態調査
のデータを可視化し、
システム上に構築



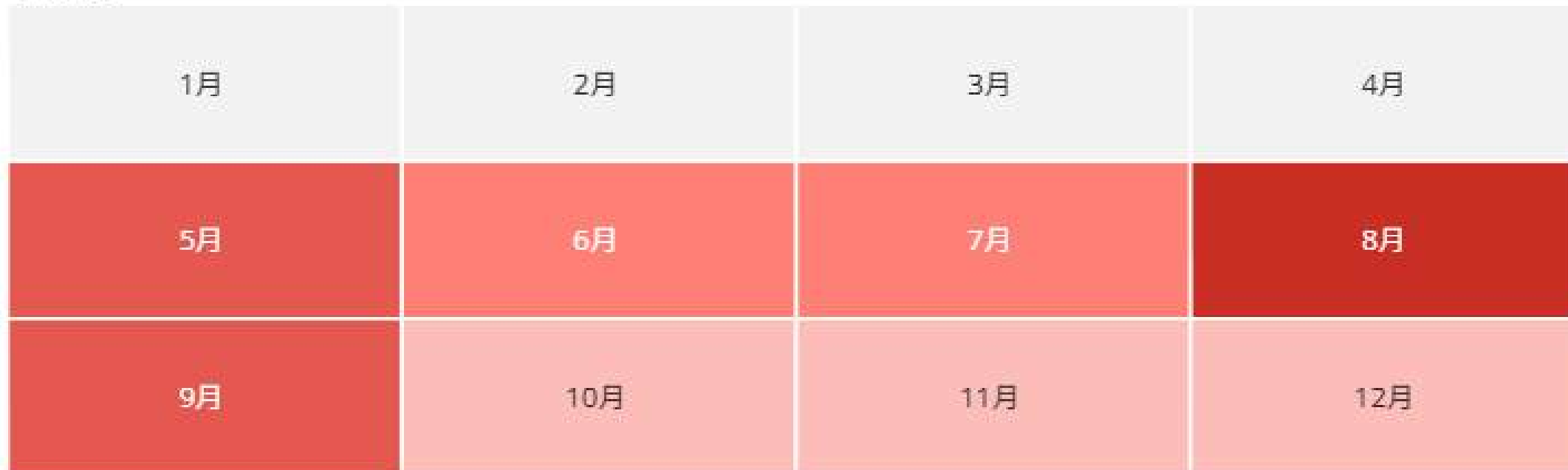
必要な時に必要なデータ
を閲覧可能に！



データの分析

いつ回答者が多かったか？（ミルクハウス）

2025



データの分析

年代ごとに消費額に差があるのか？（お土産代）



データの活用

・講演会・ワークショップの開催

データを収集、見える化をするだけではなく、実践的な能力の育成を図ることを目的に開催



今後の展開

- ・ 継続的なデータの収集・活用
- ・ 戦略の見直し・施策の立案
- ・ 関係者間での共有